

固定資産台帳を用いた将来更新費用試算（事例3）

- ◆ 公共施設等総合管理計画（H28.3月）の作成時に、インフラ・プラント系施設に係る更新費用を算出するために、平成26年度の固定資産台帳のデータを活用して将来更新費用を算出しました。

【更新費用の算出方法】

- 平成26(2014)年度決算に基づく固定資産台帳のデータを活用。
- 固定資産台帳の施設区分ごとに、耐用年数終了の翌年に取得価格（再調達価格）で更新を行うと仮定し計算。
- 再調達価格の計算式は基本的に、（取得価格×デフレータ）とする。
- したがって、既存施設の除却費及び仮設費は含まれていない。
- 一部施設（単年度に事業費が集中する施設）については、更新等費用を複数年に分割して計上。
- 固定資産台帳の各勘定科目に登録されている資産を計上対象としているため、一部備品等も含む。
- 平成19(2007)年度以前の支出または、平成20(2008)年度以降の無償譲渡は再調達価格、平成20(2008)年度以降の支出は取得価格による。

- ◆ 今後必要となる既存施設の除却費や仮設費などを含まないことから、将来の更新等費用が低めに見積もられることに留意する必要がある。

【公園施設の算出事例】

固定資産台帳データに基づく将来更新費用試算表

施設コード	施設名	耐用年数(年)	取得年月日	取得年度	供用開始年月日	取得価格(千円)	減価償却累計(千円)	期末簿価(千円)	償却年数(年)	減価償却率(%)	数量	更新予定年度	更新事業費見込(千円)
23	実籾本郷公園	40	19810608	1981	19810608	501,392,100	438,718,070	62,674,030	35	87.5%	1箇所	2022	501,392,100
13	袖ヶ浦運動公園	40	19770629	1977	19770629	398,655,433	388,689,015	9,966,418	39	97.5%	1箇所	2018	398,655,433
483	香澄公園舗装改修工事	15	20150310	2014	20150310	1,293,840	172,856	1,120,984	2	13.4%	1件	2030	1,293,840
492	プロムナード噴水照明工事	15	20150331	2014	20150331	1,080,000	144,288	935,712	2	13.4%	1件	2030	1,080,000

公共施設等総合管理計画より抜粋

(単位:千円)	平成67年度までの更新費用	1年平均の更新費用
道路	28,734,543	718,364
橋りょう	7,608,004	190,200
公園	12,660,076	316,502
ごみ処理施設	23,567,352	589,184
合計	72,569,975	1,814,250

